

Web対応型車輛管理サービス「CAR SUPPORT 21」を構築 オートリース業務の効率化とタイムリーな情報提供を実現

東洋興業株式会社

石油製品販売業を中心に、サービスステーションやオートリースなどの事業を展開する東洋興業株式会社（以下、東洋興業）では、Web対応型の新車輛管理サービス「CAR SUPPORT 21」を構築した。オートリースに伴う車輛情報やメンテナンス情報、サービスステーションで使用される給油カードの情報を顧客に提供することで、業務の効率化を実現するのが狙いである。新システムのインフラには日立の「Cosminexus」を採用。既存の基幹システムとWebシステムのスムーズな連携を可能にすると同時に、将来の拡張も容易に行える高度なBtoBビジネス環境を実現している。

インターネットを活用した新しいサービスを展開

UFJ銀行のグループ企業として、石油製品の販売・オートリース事業・駐車場事業・磁気カードの企画／発行事業などを手掛ける東洋興業。「お客さまのニーズをカタチにする」をテーマに、多彩な事業展開を行っている。情報化への取り組みも積極的に行っており、2001年6月にはインターネットを活用した新車輛管理サービス「CAR SUPPORT 21」の提供を開始した。

CAR SUPPORT 21を構築した背景について、東洋興業 取締役 システム部長 齊藤 智夫氏は「ブロードバンド・インターネット時代の到来を迎え、当社としても新しいサービスをご提供することが必要と考えました。Webサイトでの情報発信などはもちろんですが、もっとお客さまの業務に役立つようなサービスもご用意していきたい。そこでまず着目したのが、オートリース業務にまつわるさまざまな情報の

ご提供でした」と語る。

オートリース事業を行う上では、顧客企業が使用する車輛の情報やメンテナンス情報など、さまざまな情報を提供する必要があります。今やオートリース業界もデータベースでの情報提供が主流になったこともあり、共通のシステム構築の必要に迫られた。従来はこうした業務をすべて紙ベースで行っていたため、事務処理が非常に煩雑という問題があった。

また同社では、東京・大阪で16ヶ所のサービスステーションを運営しており、大口ユーザー向けに広域給油カードを発行している。そこで利用される給油カードの利用情報、請求情報などについても同様の課題があった。

「インターネットとWebサイトを利用すれば、お客さまが必要なデータを即座にご覧頂けます。特別な設備投資を行っていただく必要もありません。また経費情報をタイムリーにご提供することで、経営の効率化にお役立て頂くことも可能です」と齊藤氏は力強く語る。同社では2001年1月

から、システム構築に向けた検討作業へと着手した。

Cosminexusを採用し 基幹システムとの連携を実現

今回のシステム構築の要件について、東洋興業 システム課長代理 岩崎 剛氏は「当社の基幹システムは日立のメインフレーム^{MP5400}で構築されていますが、新サービスにもこの基幹システムを活かしたいと考えました。またシステムへの投資効果を高めるために、『小さく始めて大きく育てられる』システムであることが重要でした」と説明する。システムインテグレーションを担当した株式会社ニッセイコムでは、こうした同社の要望を受け製品の選定を実施。その結果採用されたのが日立の「Cosminexus Web Edition」であった。

Cosminexus Web Editionを選択した理由としては、「JSPウィザード」をはじめとする開発ツールも含めた統合的な環境が提供されている点が挙げられる。同様



東洋興業株式会社
取締役 システム部長
齊藤 智夫 氏



東洋興業株式会社
システム部 課長代理
岩崎 剛 氏

USER PROFILE

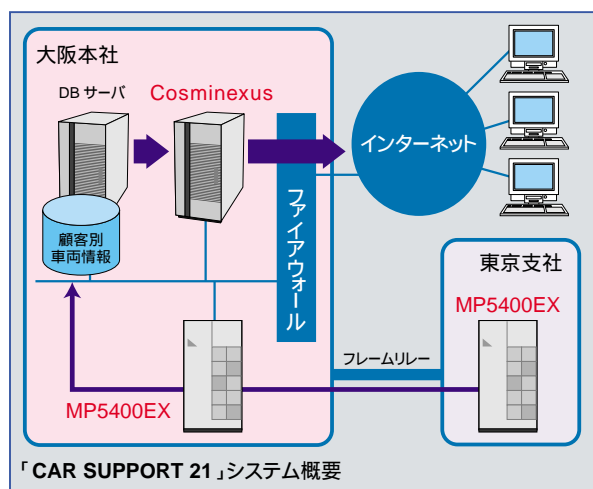
東洋興業株式会社

本社：大阪市北区西天満5-1-9 南森町東洋ビル7階
設立：1963年7月
資本金：1億円
売上高：200億円
従業員数：300名
URL：http://www.toyokogyo.co.jp/
事業概要：UFJ銀行および関連会社などの出資により1963年に設立。石油製品の販売を中心にオートリース、駐車場、高速道路通行回数券の取り扱い、磁気カードの制作など多角的な事業展開を行っており、グループ企業ではホテル業や自動車の運行管理請負業なども手掛けている。

PARTNER PROFILE

株式会社ニッセイコム

本社：東京都品川区大井1-47-1NTビル
設立：1974年4月
資本金：授權資本金12億円
売上高：310億円
従業員数：800名
URL：http://www.nisseicom.co.jp/
事業概要：アプリケーションパッケージ「NCくんシリーズ」をはじめ、コンピュータ、通信機などの情報処理機器及びそのシステムの開発、製造、保守、据付および関連設備工事を行なう。また、ソフトウェアの開発、販売、賃貸、保守、コンサルティング及び教育など多岐にわたる。



の機能を実現するアプリケーションサーバ製品は他にも存在する。しかしサーバ製品と開発ツールを別々に用意すると、適切な組み合わせを選ぶだけでも無用の時間がかかってしまう。しかもできあがったシステムの品質に対しても、不安が残る点は否めない。今回のシステムでは短期構築も大きな課題であっただけに、こうした問題を抱えるわけにはいかなかった。

その点Cosminexus Web Editionであれば、充実した開発環境が用意されている上に、日立の強力なサポートも利用することができる。基幹システムとWebシステムの連携による新しいサービスを迅速に実現するためには、Cosminexus Web Editionが最善の選択だったのだ。

データベース連携を活用し低コストでシステムを構築

基幹システムとの連携にあたっては、メインフレームのデータをファイル転送で新システムのサーバに転送し、Webで公開する方法が採られている。

基幹システムのデータを利用する方法としては、Webからメインフレーム上のデータに直接アクセスさせる方法もある。しかし今回のシステムは、今のところそれほどリアルタイム性が要求されるものではない。車輛や給油カードの情報にしても、何らかの変更があった翌日に反映されていれば十

分だ。そこでデータベース連携には、ディレイドオンラインの方法が選ばれたのだ。

この方法であれば、リアルタイムオンライン処理の部分を基幹システム上に新たに作り込む必要がないため、システム構築期間を短縮することが可能だ。また構築に関わる余分なコストを抑えることもできる。もちろん将来リアルタイム性が要求されるサービスが追加された際には、メインフレームへの直接アクセスを行えるように変更することも可能だ。

岩崎氏は「開発に要した期間は約3.5ヶ月でした。Cosminexus Web Editionを採用したことで、開発効率や保守性を大幅に向上させることができました」と満足げに語る。

新しいサービスも追加しビジネスの効率化に役立てる

CAR SUPPORT21が稼働したことで、オートリース、給油カードに関わる業務の大幅な効率化が実現できた。また請求書や給油明細表などを紙で処理する必要もなくなったため、業務のペーパーレス化を推進することも可能になった。

現在はさらにサービス内容の拡大を図るべく、システムの拡張作業を実施中だ。会社では高速回数券やレーザープリンタのリサイクルトナーカートリッジの販売なども手掛けているが、近日中にこうしたもの

の発注もWebから行えるようにする予定である。

CAR SUPPORT 21は情報提供だけに留まらず、同社のBtoBビジネスのインフラとしての役割を担うことになるわけだ。システム規模を拡大する際にはまた再構築が必要ということでは困ってしまうが、Cosminexusならシステムをスケラブルに発展させることが可能。こうした同社のビジネス展開にも十分に対応できる。

「システムに蓄積された情報の分析を行うなどして、お客さまへの提案活動にも活用していきたいですね」と齊藤氏は抱負を語る。

ニッセイコムと日立のサービス・サポートにも対する期待も高い。

齊藤氏は「Web展開の第一段としては、十分に満足できるシステムができたと考えています。今後もさらにサービスの強化を行ってまいりますので、引き続き我々をバックアップしてもらいたいですね」と語った。

*記載会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

コラボレイティブEビジネスプラットフォーム
Cosminexus
Version 4

お問い合わせ

株式会社 日立製作所

ソフトウェア事業部 販売推進部

〒140-8573 東京都品川区南大井6-26-2 大森ベルポートB館

TEL.03-5471-2592 FAX.03-5471-2395

www.hitachi.co.jp/cosminexus/